

# 造影 MRI 検査の問診票・同意書

説明医師

印

造影剤を用いることにより、病気の状態がより正確に把握でき、今後の治療に役立てることができます。比較的安全な薬ですが、まれに副作用が起こる場合があります。

## ■ 軽い副作用:

吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、発疹などで、基本的に治療を要しません。約 100 人に 1 人以下の頻度です。

## ■ 重い副作用:

呼吸困難、血圧低下、意識障害など。このような副作用は通常は治療が必要で後遺症が残る可能性があります。入院や処置、手術が必要なこともあります。約 10000 人に 1 人の頻度です。また、非常にまれですが、病状や体質によっては約 100 万人に 1 人の割合で死亡する例があります。

## ■ その他:

なお、以前に造影剤を用いる検査を受けて副作用がなかった方でも、副作用が起こる可能性はあります。また、勢いよく造影剤を注入するために、まれに血管外に造影剤がもれることがあります。この場合は注射した部位が腫れて痛みを伴うことがありますが時間がたてば吸収されて心配ありません。

気管支喘息、重篤な肝障害、腎障害のある方は造影検査をお受けになることができない場合があります。

## 【問診票】

以下の質問事項は、お受けになられる造影 MRI 検査を安全にかつスムーズに行うために、検査前に確認しておく必要がありますので必ずご記入ください。

担当医の判断で造影剤を使用しない場合もありますので御了承ください。

1. 今までに造影剤(注射・点滴)を用いた検査を受けたことがありますか？ ( はい ・ いいえ )  
CT 検査、MRI 検査、尿路造影、胆道造影、血管造影、心臓カテーテル検査 など
2. その時、副作用はありましたか？ ( はい ・ いいえ )  
発疹、かゆみ、吐き気、嘔吐、頭痛、その他( )
3. 女性の方にお聞きします。現在あなたは妊娠していますか？ ( はい ・ いいえ )
4. 今までに薬のアレルギーはありますか？ ( はい ・ いいえ )  
ある方は薬剤名がわかる場合はご記入ください。( )
5. アレルギー体質、アレルギー性の病気がありますか？ ( はい ・ いいえ )  
喘息、じんましん、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、その他( )
6. 腎臓のはたらきが悪い(腎不全、腎障害)といわれたことはありますか？ ( はい ・ いいえ )  
(ある方は詳しい状態を必ず検査前にお知らせください)

このたび造影 MRI 検査について説明を受け、十分理解した上で検査を行います。



令和 年 月 日

患者様署名 印

家族または代理人署名 印